

平成22年度参画協働の取組 自己評価シート

(所管課名) 農業政策課(担い手推進室)

1 平成22年度の細事業概要

必要に応じて行の幅を拡大すること

事業名	担い手育成事業	章	7
		節	3
細事業名	農業後継者育成経費		
上位事業の目的	農業における担い手不足、高齢化が進む中、本市農業の持続的発展を図るため、農業の担い手を育成する。		
H22年度細事業の取り組み実績	・農業後継者大会・新規就農者激励会を共催し、後継者の育成・支援を行う ・経営研修会の開催など、農業後継者クラブの活動を側面的に支援し、相談・情報提供を行う 別添資料(有・無)		
参画の手法	・熊本市農業後継者クラブ役員会に定期的に出席し、意見を集約し事業に反映		
協働の形態	・熊本市農業後継者クラブとの協働により、各種研修会を開催するとともに、後継者クラブの活動(農産物販売・スポーツレクリエーション・美化活動など)を側面的に支援している。		

2 細事業コスト

(単位:千円)

決 算 額	平成22年度決算	平成23年度予算	平成24年度見込み
額等	3,813	3,753	3,753

3 細事業の参画協働に関する自己評価

評価ポイント		具体的な取組と評価・その理由など	
(情報共有)	【積極的な情報共有】 どのような広報活動を通じ、どのような市民を対象として、事業に関する情報を積極的に提供しましたか。また、どのような情報収集を図りましたか	・農業後継者の役員会に同席し、研修会の企画では、講師や会場に関する情報提供をおこなった ・農業後継者クラブの活動(美化活動、農産物販売など)に際し、報道関係者に情報提供し、市民へのPRになった。 ・新規就農者に関する情報を後継者クラブから収集した。	
参画	【参画の機会の提供】 どのような手法をどの程度組み合わせ、どのような市民を対象として多くの参画の機会を設けましたか	・農業後継者大会・新規就農者激励会においては、関係団体に新規就農者の情報を照会し、研修会の案内を送付した。合併の影響もあり、新規就農者は増加傾向にある。 ・農業後継者クラブの交流会に、異業種の若者の参加も呼びかけ、農業に対する理解を深める機会となった ・先進地視察研修においては、バスの借り上げ料など補助し、後継者が参加しやすいように支援した ・後継者の経営能力の向上のために、農業簿記、パソコン研修を企画し、参加を促した	
	【市民ニーズ等の反映】 どのような点に工夫して市民からの意見や情報収集・意見交換等を行い、ニーズを事業に反映しましたか	・研修会の内容については、後継者クラブ支部へのアンケートなどを行って、会員の意見を役員がとりまとめ、役員会に反映されるよう努めている。	
課題と改善点	・公の場では意見を出せずにいる後継者の潜在的ニーズを引き出していくことが今後の課題である。	自己評価	A よくできた B まあまあできた C あまりできなかった D 全くできなかった
		B	

評価ポイント		具体的な取組と評価・その理由など		
協働	【役割の分担】 当初の期待と比べ、市民との役割分担を明確にして対等な立場で事業を進めることができましたか	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市農業後継者大会・新規就農者激励会においては、後継者の役割と行政の役割を明確にしながら、共催で行うことができた。 ・秋桜まつりに参加し、各支部からそれぞれの農産物を持ち寄り販売もしたので、多くの関係者との協働・連携が実現した。また、会場が動植物園ということで、子供から高齢者まで農と食に対する関心を高めることができた。 		
	【事業効果の向上】 当初の期待と比べ、市民との協働により、行政単独で行うよりも市民満足度が高まるなどの事業効果を上げることができましたか	<ul style="list-style-type: none"> ・農業簿記・パソコン研修は、後継者の希望により開催されたが、経営感覚を身につけるうえで有意義だったと受講者から満足度が高かった ・先進地視察や研修会により、生産から流通・販売まで先駆的实践をしている関係者との連携・協働が実現した 		
	【信頼関係の構築】 当初の期待と比べ、協働を通じて情報共有を図り、お互いの信頼関係を築き、双方が実感できましたか	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に役員会で情報交換・共有し、各種活動に参加することで、顔の見える連携・信頼関係が前進した。 ・継続している活動が多いので、会を重ねることで信頼関係が大きなものになったと実感している。 		
	課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の取り組みは、双方が明確な役割分担に努め、継続していくことが重要である。担当者の異動や役員交代に左右されないマニュアルづくりが必要。 ・後継者クラブは支部を中心として活動しているため、それぞれの独自性と熊本市としての共通の取り組みをともに支援することが必要。 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> A よくできた B まあまあできた C あまりできなかった D 全くできなかった
情報共有・参画・協働の経費や期間に関する課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・経費は特に問題はないが、予算が増えれば研修等の企画が充実できる。 ・期間・活動内容については、後継者クラブに参加していない農業後継者を取り込んで拡大発展を図りたい。 			

4 平成23年度の計画

23年度以降の方向性	拡大・充実	現状維持	見直し・改善	縮小・終期設定	廃止・休止
H23細事業の取り組み予定	経営研修会の開催など、農業後継者クラブの支援や助成を行う。新規就農者に対しては、情報提供やアドバイスを行う。				
参画の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者クラブ役員によるグループヒヤリングを通じて、後継者のニーズに沿った研修会、活動を支援する。 ・必要に応じてマスコミ等に広報活動を行い、市民の皆さんに農業後継者の活動、農業に対する理解促進や農産物等の情報を提供する 				
協働の形態	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市農業後継者大会・新規就農者激励会を後継者クラブとの共催で開催する。 ・秋桜まつりははじめ市のイベントに後継者クラブからも参加を呼びかけ、農産物販売を企画する。異業種・関係者との協働・連携を図る。 				

農業後継者の育成活動について

農業後継者の育成について、全国でも農業の担い手不足が叫ばれているが、本市においても喫緊の課題として、その推進に取り組んでいる。

農業後継者クラブと共催で農業後継者大会・新規就農者激励会を開催し、新たな農業の担い手を激励し、後継者活動の発表の場を設けている。また、農業経営の感覚を養うため、農業簿記・パソコン研修等を実施している。

農業後継者大会・新規就農者激励会



農業簿記・パソコン研修



農業後継者クラブは地域に根ざした団体で、10支部で計233名（平成22年会員数）の会員が所属している。地域の農業を支えるだけでなく、地域のボランティアや地域農業の振興に関して住民に対して、理解を深める活動を行っている。

菊水学園での餅つき



熊本城の清掃活動



耕作放棄地での園児とのサツマイモ掘り



デパート一画でスイカの即売会

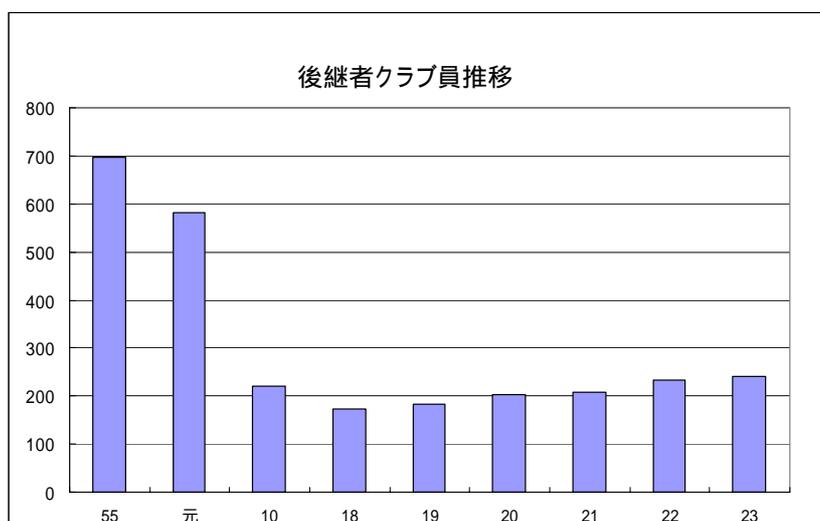


後継者クラブの支部ごとに多くの事業を自主的にしており、合わせて熊本市全体としての活動も行っている。その活動に対して補助金交付及び側面的支援を行っている。

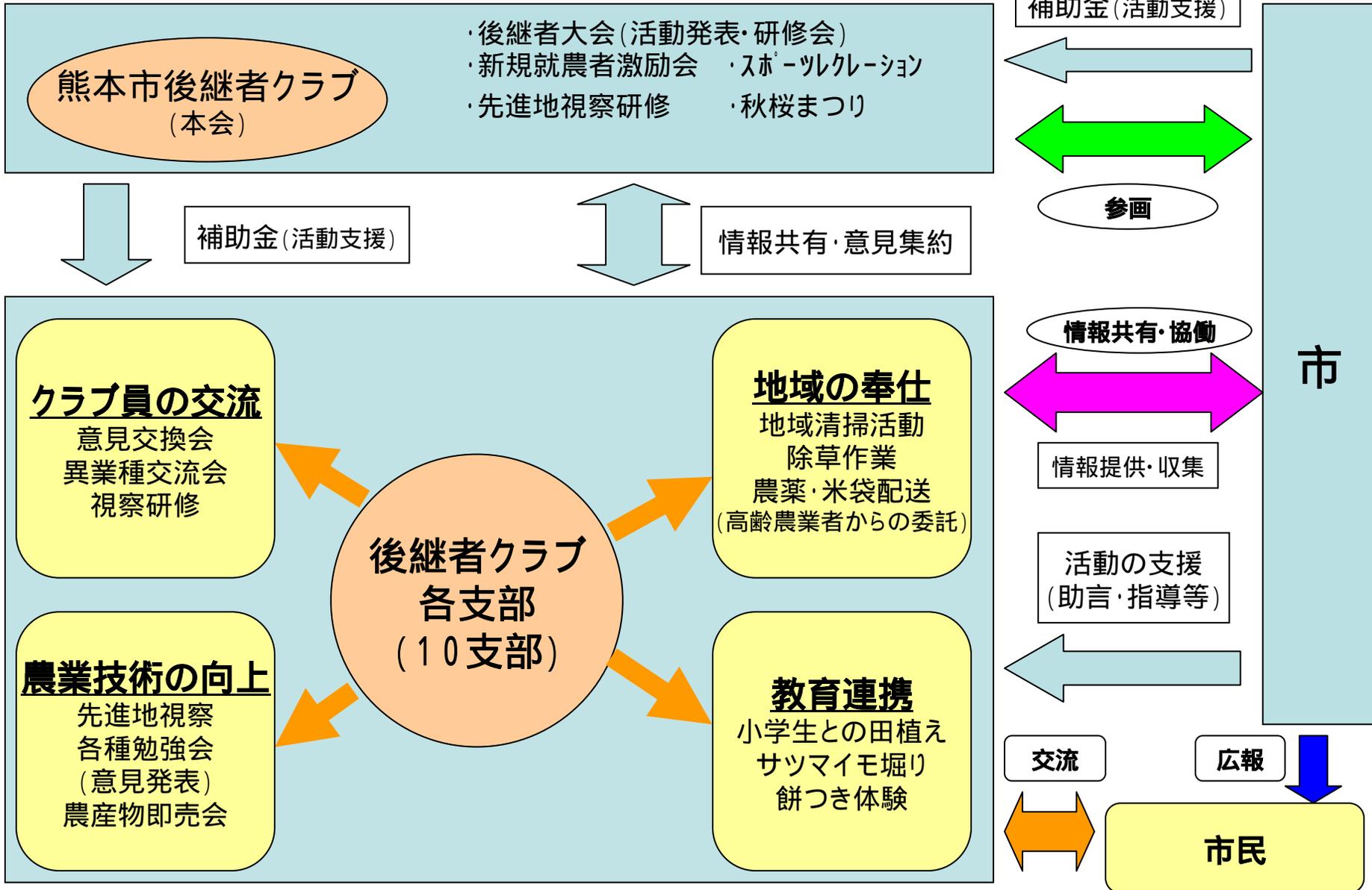
各支部で作っている作物が違うために、何かひとつの活動をする際にも時間や考え方など地域性がでてくる。そのため農業後継者クラブでは月に一回各支部の代表者を集め、役員会を開催している。役員会では、今後の農業後継者クラブの活動の方向性や内容について定めるだけでなく、各支部との交流を盛んにして情報を交換する場にもなっている。意気盛んな支部があることで他の支部も活気付けられ、熊本市全体として農業を盛り上げる動機付けにもなっている。役員会には農業政策課からも必ず参加し、農業後継者に関連する市の事業内容やその他の活動について積極的に情報提供をしている。また農業後継者クラブからも地域に根ざした団体であることを利用して、新規就農者の情報などを収集し、情報共有しているところである。

熊本市農業後継者クラブ会員数の推移

和暦 (年)	55	元	10	18	19	20	21	22	23
会員数 (人)	696	582	220	174	184	203	207	233	240



農業後継者育成事業概要



農業簿記アンケート集計結果

Q1. 性別について

男性	13
女性	3

Q1. 性別について



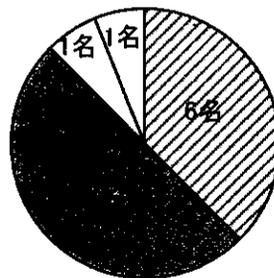
Q3. パソコンはお持ちですか？



Q2. 年齢について

10代	0
20代	6
30代	8
40代	1
50代以上	1

Q2. 年齢について



Q4. 経営管理・分析、確定申告に取り組んでいますか？



Q3. パソコンはお持ちですか？

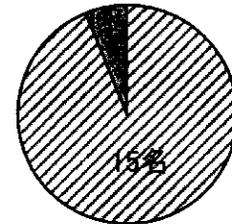
はい	15
いいえ	1

Q3で「はい」とお答えの方

Q4. 経営管理・分析、確定申告に取り組んでいますか？

はい	5 (入力のみが1名)
いいえ	10

Q5. 研修の全体の進行や説明はいかがでしたか？



Q5. 研修の全体の進行や説明はいかがでしたか？

良かった	15
普通	1
良くなかった	0

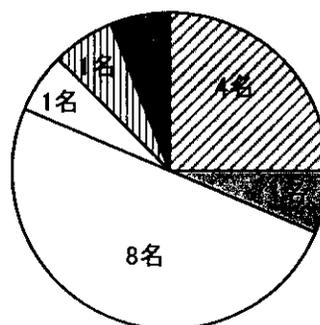
Q6. Q5の理由

- ・説明が分かりやすかった。
- ・簿記は勉強していなかったが、農業簿記のソフトの操作が良く分からなかったのが良かった。
- ・分からない所も親切に教えてくれた。
- ・e-Taxの操作がわかった。
- ・貸借対照表の分け方が理解しやすかった。
- ・パソコンで簿記が出来るようになると、スピーディに帳簿がつけられるような気がした。
- ・休んだ分の補講もしていただけたので良かった。
- ・トラブルの対応や適度なペースで進行していたので、特に問題なく無事に終了できた。

Q7. 研修の難易度はどうでしたか？

易しかった	4
まあまあ易しかった	1
ちょうど良い	8
少し難しかった	1
かなり難しかった	1
無回答	1

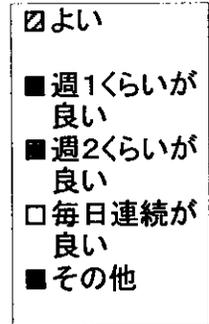
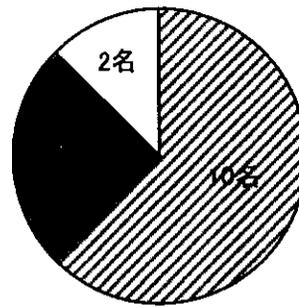
Q7. 研修の難易度はどうでしたか？



Q8. 週3回という日程はいかがでしたか？

よい	10
週1くらいが良い	0
週2くらいが良い	4
毎日連続が良い	2
その他	0

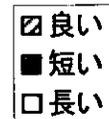
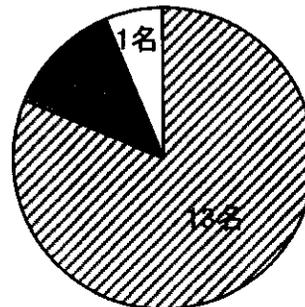
Q8. 週3回という日程はいかがでしたか？



Q9. 1日の研修時間(2時間)はいかがでしたか？

良い	13
短い	2
長い	1
その他	0

Q9. 1日の研修時間(2時間)はいかがでしたか？



Q10. 研修の時間帯はいかがでしたか？

良い	14
違う時間帯が良い	2

(希望時間帯) 18:00～、もう少し早い方が良い

Q11. 研修の開催時期はいかがでしたか？

良い	15
違う時期が良い	1

(希望時期) 12～1月

Q12. 今後、農業簿記・パソコン研修の他にこんな研修あればというものがあったらお書きください

- | |
|--------------------------------|
| ・ パソコンの研修が多かったので、筆記の方も勉強したい |
| ・ パソコンの基礎のような講座も受講したい |
| ・ ホームページ作成やインターネット販売などあればしてみたい |
| ・ 農業簿記のVer8を使ってみたい |

Q13. この研修に関してのご意見・ご要望

- | |
|--------------------------------------------------------------------------|
| ・ 農業簿記は、農業経営するものにとって大切なものなのでとても役立ちました。次回研修を行うときもぜひ受講したいです。 |
| ・ まだ分からないことや知らないことがあるのでまた参加したいです。 |
| ・ 青色申告のやり方は大体理解できたが、実際に申告が行えるように演習をもう少し取り入れて欲しかったです。 |
| ・ 不慣れなので農業簿記以外の事でつまづく事が多かったので申し訳なかったです。 |
| ・ 田植え後くらいの時期だともっと楽しかったです。 |
| ・ 週3回という回数、前回の講座内容を忘れる前に受けられたので良かった。 |
| ・ 今回の申告にぜひ活かしたいです。 |
| ・ 本研修の到達目標が、簿記の習得とe-Taxで申告できる、ならば良かったです。農業簿記を使いこなすにはソフトがないといけないし値段も高価です。 |

Q10. 研修の時間帯はいかがでしたか？



良い 違う時間帯が良い

Q11. 研修の開催時期はいかがでしたか？



良い 違う時期が良い 1名